

鹿児島医療センター AIS新聞

第1号

皆様、そろそろ血管内治療について色々知りたいと思いはじめてきた頃ではありませんか？そんなあなたにはこちら！今年から始めますAIS(急性虚血性脳卒中)新聞！仕事のお供に1枚どうぞ♡

脳血管内治療って何？

Wikipediaによると…

脳血管内治療（けっかんないちりょう、Vascular IVR）とは、脳血管内に挿入した医療機器によって行われる治療です。脳血管内手術とも呼ばれます。治療に際してカテーテルが多用されるので、脳カテーテル治療とも呼ばれています。脳外科の先生が主体でやっていることが多いですが、神経内科や放射線科、救急科資格をとることができ、現在専門医は全国で1500人くらいです。

血管内治療の方法

- ◆血管拡張術
血管を拡げる・開く
- ◆塞栓術
血管を詰める

脳血管内治療医のイメージ



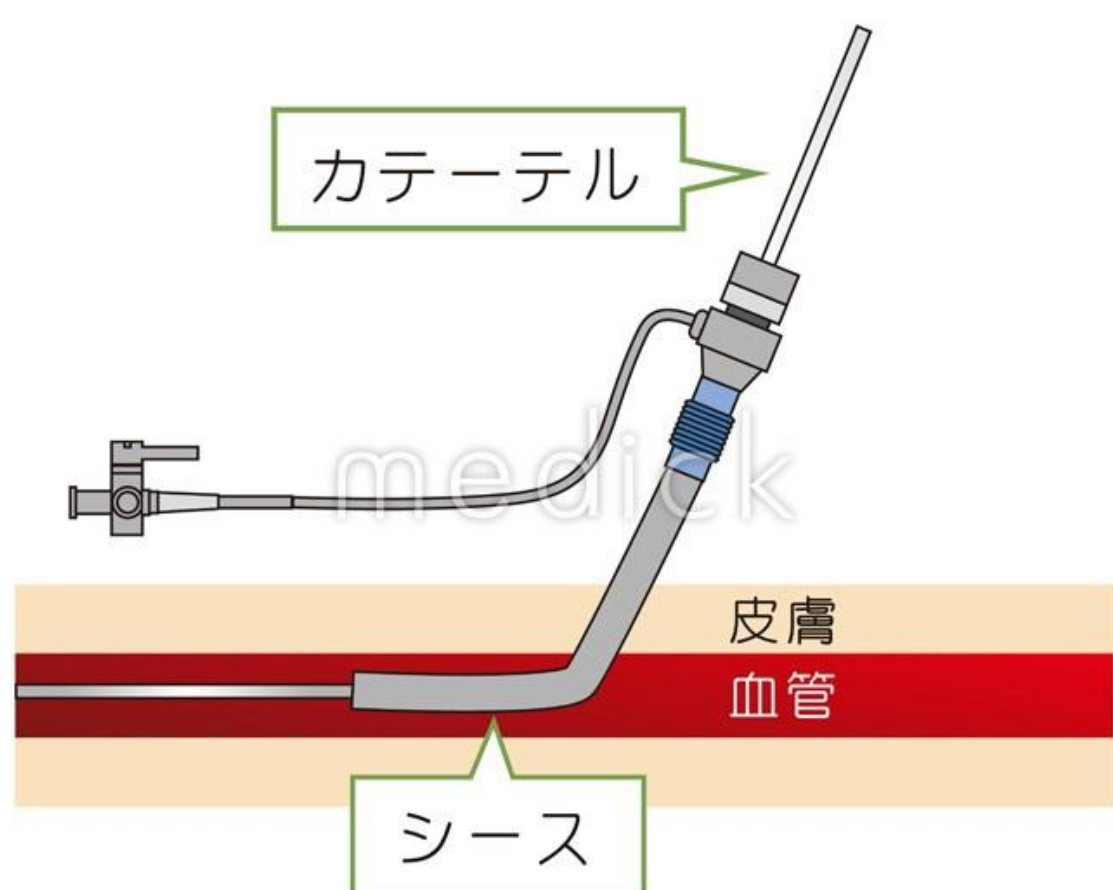
水のトラブル年間対応件数100万件以上
水のトラブル 見つけたらー
水安心 クラシアン



水道管工事職人
みたいな
ものです



シースの役割



簡単にいうと治療道具を目的の部位まで持っていくための道具です。シースなしではカテーテル治療ができません。脳の領域では8Fr、9Frのシースを使うことが多いです。「Fr」とはフレンチという単位で1Fr=0.33mm、つまり3Frで1mmだと覚えてください。



点滴で言うと
サーフロの
ようなもの！



今月の1例

～動脈硬化病変の急性閉塞～

血栓回収療法の適応は心原性脳塞栓症だけではありません！実はアテローム硬化が原因の急性閉塞にも適応となります。ただ、ステントリトリバーや吸引デバイス(ACEのような)では再開通が得られにくいことが多いです。

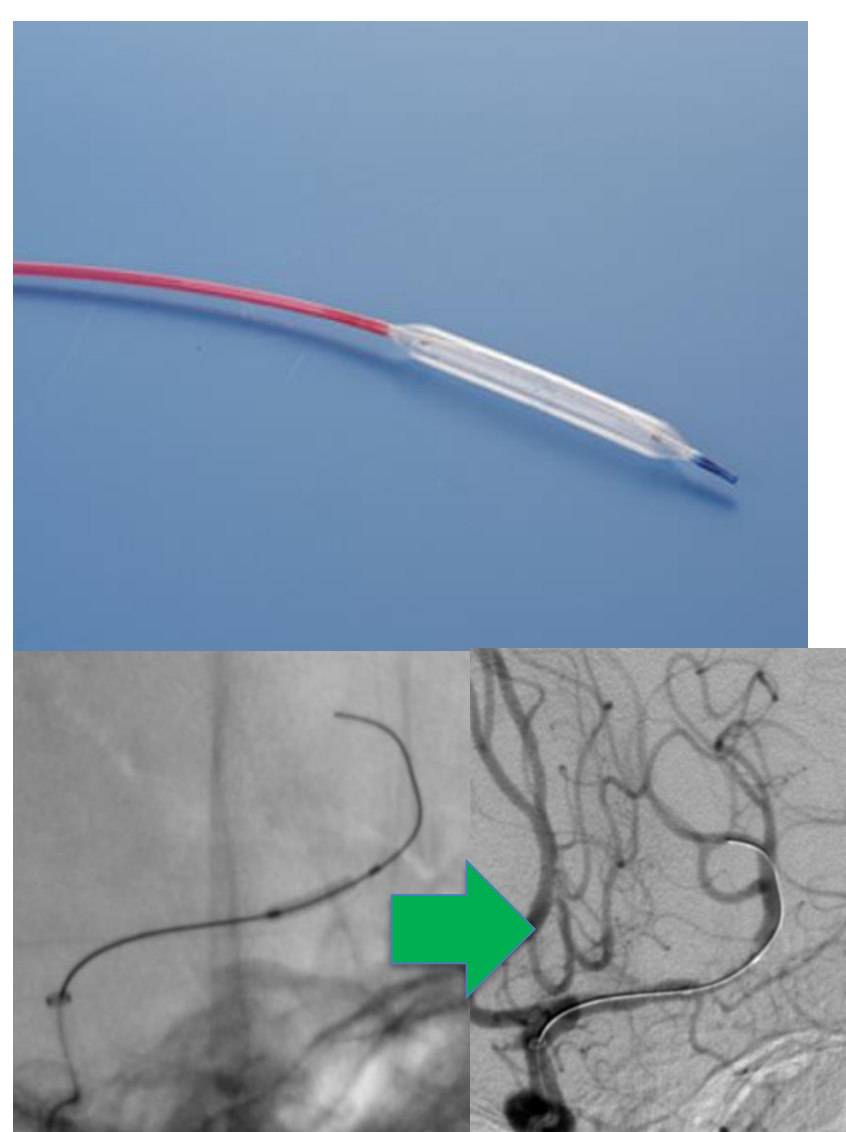


そこで使用するのが頭蓋内専用バルーンです。

頭蓋内専用バルーンにはUnryuとGatewayという名前の道具があります。どちらも使い方は同じです。

治療の適応に関しては各施設で基準が異なるのが現状ですが、①症候性、②70%以上の狭窄、③進行性などが一般的な判断基準です。

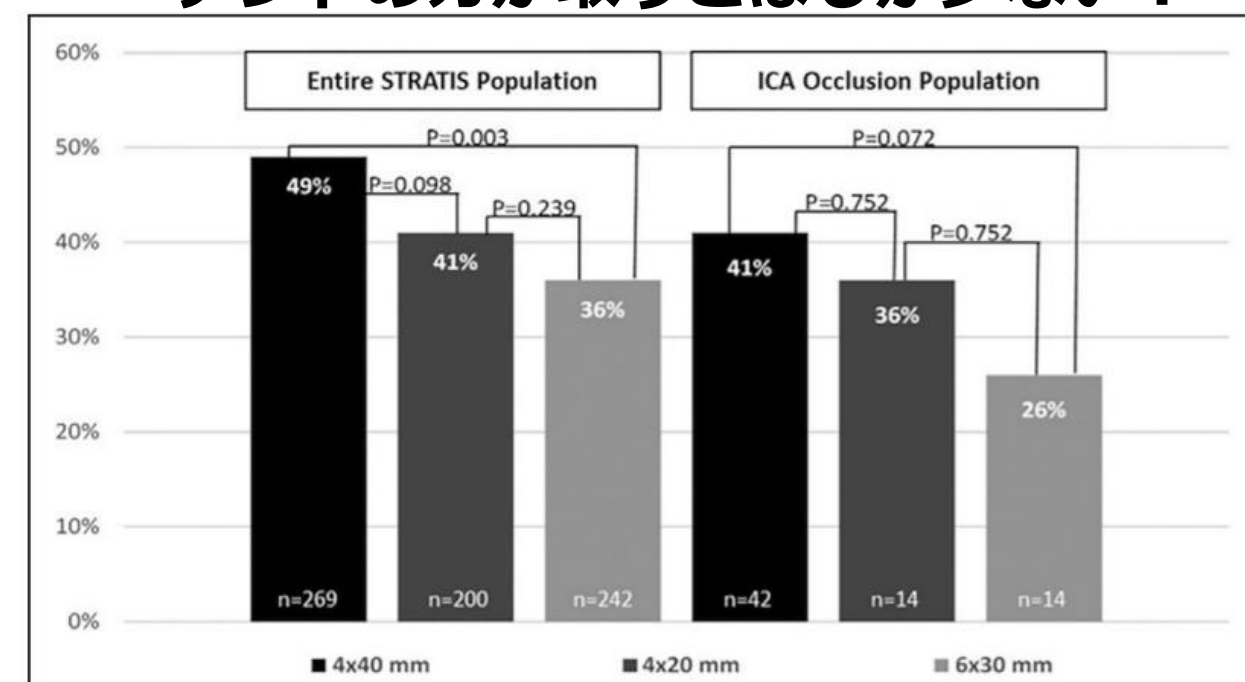
頭蓋内専用バルーンで血管拡張術を行う手技をPTAと呼びます。覚えておくためになりますよ～



気になる!

ステントリトリバーのサイズ選択

6×30mmよりも4×40mmの方が再開通率が高かったらしい・・・長いステントの方が取りこぼしが少ない？



～4コマ便利～



作:ペンネーム makiさん